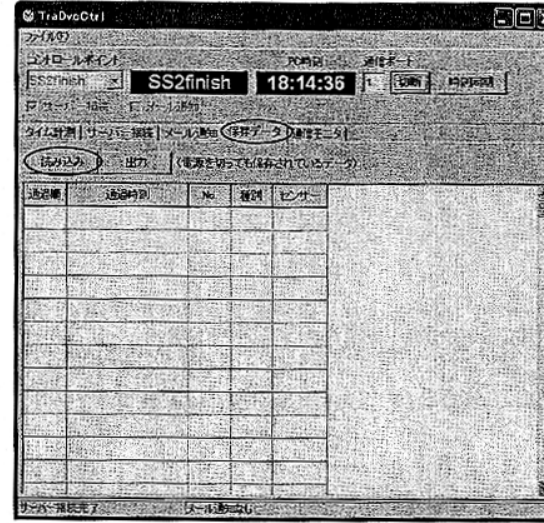
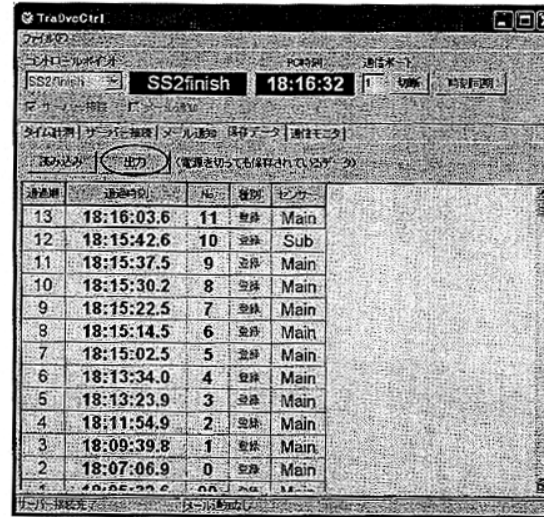


ここまでの計測データを消去して計測を始めるからやり直す場合は、『初期化』をクリックしてください。  
 確認メッセージが表示され、『はい』をクリックすると装置の計測データは消去され、プログラム画面データも消去されます。計測装置内の電源を切っても保持される領域のデータが消去されることはありません。  
 『サーバー接続』をチェックしている場合、既にサーバーに登録されたデータは消去されません。  
 『メール通知』をチェックしている場合、既に通知されたデータに対する削除通知は行われません。



タブ『保存データ』を表示させ『読み込み』をクリックすると、計測装置が保持している計測データを読み出すことができます。(装置は最大511件までの計測データを保持しており、これは装置の電源を切っても消去されません。511件を超える計測を行った場合は最も古いデータから順に廃棄され、上書きされていきます。)

保持データを読み込むためにプログラムを起動し、装置と通信させる場合は、『コントロールポイント』は何でもかまいません。また、この場合は『サーバー接続』、『メール通知』のチェックをしておいてください。



保持データを読み出した状態で『出力』をクリックするとデータをCSVファイルとして出力することができます。ファイル名指定ダイアログが表示されますので、出力先フォルダとファイル名を指定してください。

別装置のデータを読み出す場合は、一旦『切断』し、別装置を繋ぎ直してから『接続』してください。